

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	さとう たくや	
氏名	佐藤 拓也	
所属・役職	YuMake 株式会社 代表取締役 CEO 一般社団法人シビックテックジャパン 理事 デジタル庁 デジタル推進員 一般社団法人コード・フォー・ジャパン フェロー CODE for IKOMA Founder NPO 法人琵琶故知新 監事	
活動拠点	奈良県および関西一円	
略歴	奈良県生駒市在住。大学院時代には、気象予測モデルを使用したシミュレーションを活用した事例研究を行う。その後、システムインテグレーターにて、在庫管理システム・介護保険システム開発・運用に従事し、民間気象情報会社を経て、気象業界を変えるべく独立し YuMake 合同会社を設立。2023 年 5 月には、事業拡大のため YuMake 株式会社に組織変更。気象データの提供を通じて、アプリや Web サービス等の付加価値向上、データ分析サービスへの気象データ活用に取り組む。 「気象は人の生活のどこにでも関わっている」ことから、Code for Ikoma の立ち上げを機に、視野を広めることも含めて CivicTech や GovTech の領域へも取り組む。地域におけるオープンデータ活用・IT を活用した地域活性化のほか、シビックテックギルドメンバーとして、行政におけるデジタルトランスフォーメーション・業務改革・EBPM などの伴走型ワークショップなども実施している。 2014 年 1 月 Code for Ikoma 設立。代表（～2022 年 3 月、現在は Founder）。 2015 年 3 月 YuMake 合同会社設立。代表社員。 2017 年 12 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン 理事就任。 （コード・フォー・ジャパン 総務省 地域情報化アドバイザー） 2018 年 4 月 大阪市立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員就任（～2022 年 3 月）。 2019 年 4 月 総務省 地域情報化アドバイザー（現任）。 2019 年 4 月 株式会社 地域計画建築研究所 ソーシャル・テクノロジーオフィサー就任（～2025 年 3 月）。 2019 年 5 月 一般社団法人シビックテックジャパン 理事就任（現任）。 2019 年 12 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン アドバイザー 2019 年 12 月 特定非営利法人 琵琶故知新 理事就任。（～2022 年 11 月） 2021 年 4 月 一般社団法人コード・フォー・ジャパン フェロー（現任） 2022 年 4 月 奈良県生駒市 CDO 補佐官（～2023 年 3 月） 2022 年 12 月 特定非営利法人 琵琶故知新 監事就任（現任）。	

		2023 年 5 月 YuMake 合同会社を組織変更し、YuMake 株式会社 代表取締役 CEO に就任（現任）。
地域情報化の 専門分野・技術		オープンデータ整備、公開、活用 防災コミュニティづくり、防災における IT 活用 EBPM（データを活用した根拠を元にした政策立案） DX 研修（現場の課題に基づくアクティブラーニング型支援） 気象データ活用、気象センサー（IoT）活用、気象データ分析・AI 農業・防災・マーケティング・観光・スマートシティ等様々な業界における気象情報活用 アイデアソン・ハッカソン 企画運営
専門分野		オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI 活用 生成AI活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 行政手続オンライン化 防災 スマートシティ プロジェクトマネジメント支援 その他
自治体向けメッセージ		地域の持つ課題や意見を尊重しながら、地域に合ったやり方・手法を共に考え、ご提案できるよう努めています。
関連サイト		個人プロフィールサイト https://sites.google.com/yumake.jp/takuyasato/ YuMake 株式会社 https://www.yumake.jp/ 一般社団法人コード・フォー・ジャパン https://www.code4japan.org/ 一般社団法人シビックテックジャパン https://www.civictech.jp/ Code for Ikoma https://www.code4ikoma.org/ 特定非営利法人 琵琶故知新 https://www.biwako.info/npo/ 過去の講演資料 https://speakerdeck.com/takuya310
地域情報化に関する実績	これまでの 経験業務・ 研究活動	・ゴミをいつ捨てれば良いか分かる 5374.jp の生駒市版を作成（平成 26 年 1 月） ・Iko mama papa アプリ開発提案プロジェクト（平成 26 年度、生駒市主催・Code for Ikoma 企画運営） 「子育て」をテーマにしたアプリのアイデア・試作品の開発のプロジェクトを企画運営・保育園の場所がすぐに分かる保育園マップの生駒市版を作成（平成 27 年 3 月） ・IKOMA Civic Tech Award 2016（平成 28 年度、生駒市主催・Code for Ikoma 企画運営）オープンデータの活用について知り・学ぶ「Civic Tech Party」と、アプリおよびアイデアのコンテスト「Civic Tech Award」の企画運営 ・アーバンデータチャレンジ奈良ブロック地域コーディネーター ・生駒市オープンデータポータルサイト構築支援（平成 28 年度） ・内閣官房国土強靱化推進室 近畿ワークショップ ファシリテーター（平成 29・30 年度） ・レジリ学園関西校 企画・運営 - 内閣官房・国土強靱化推進室のワークショップを経て設立。 - ジャパン・レジリエンス・アワード 2019 優秀賞受賞。 ・先端技術導入による中山間地域の特産品生産スマート化への展開 -高機能機械やIoTによる農作業の省力化・遠隔管理、AIによるデータ解析技術などを実装した近未来型柿生産体系の構築-（スマート農業技術の開発・実証プロジェクト：農研機構） ・大阪府四條畷市のスマートシティの取り組みを推進する「日本一前向き！」コンソーシアムに参画。飯盛霊園においてIoTを活用した桜の開花予測の実証実験を実施 ・大阪府 DX 推進パートナーズに YuMake 合同会社として参画 ・福井県スマートエリア形成 FS（フィジビリティスタディ） ・静岡県裾野市の SDCC（スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ）コンソーシア

		ムに YuMake 合同会社として参画 ・ 佐賀県佐賀市の SAGA スマート街なかプロジェクトについて、気象データ活用・気象 IoT センサー構築の側面から支援 ・ 北海道 松前町の DX 推進計画の作成 ・ 桜のデータをシビックセンシングにより集める取組「桜咲プロジェクト in 奈良」がアーバンデータチャレンジ 2023 のアクティビティ部門において銅賞を受賞
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	・ 給食の献立がすぐに分かる「4919 for Ikoma」の横展開プロジェクト ・ 給食の献立データの推奨データ化に関する、データ運用検討分科会参加 ・ 生駒市図書館主催 WikipediaTown の実施支援 ・ 生駒市庁内向けデータ利活用研修（データアカデミー）の企画・実施支援 ・ 大阪府吹田市 シビックテック支援事業（平成 29 年度地域情報化アドバイザー） ・ 岡山県真庭市 デジタル観光に関する支援事業（平成 30 年度地域情報化アドバイザー） ・ ひょうご地域課題×エネルギー 実践スクール（持続可能地域づくりコース）メンター ・ 総合地球環境学研究所オープンサイエンスプロジェクト （オープンサイエンスと社会協働の融合に基づく琵琶湖流域圏水草資源活用コミュニティーの形成 関連） ・ 経産省 DX ワークショップ テーブルファシリテーター ・ オープンデータリーダー育成研修、オープンデータ化支援研修 講師 奈良県・兵庫県・福岡県・鹿児島県（各県下基礎自治体含む） ・ DX 研修 サブ講師、DX プロジェクトマネジメント（神奈川県藤沢市） ・ データアカデミー メイン講師（大阪府枚方市・兵庫県など） ・ R5 年度 大阪府堺市 データアカデミー型 EBPM 研修 メイン講師 ・ R6 年度 大阪府堺市 DX 実践研修 メイン講師